

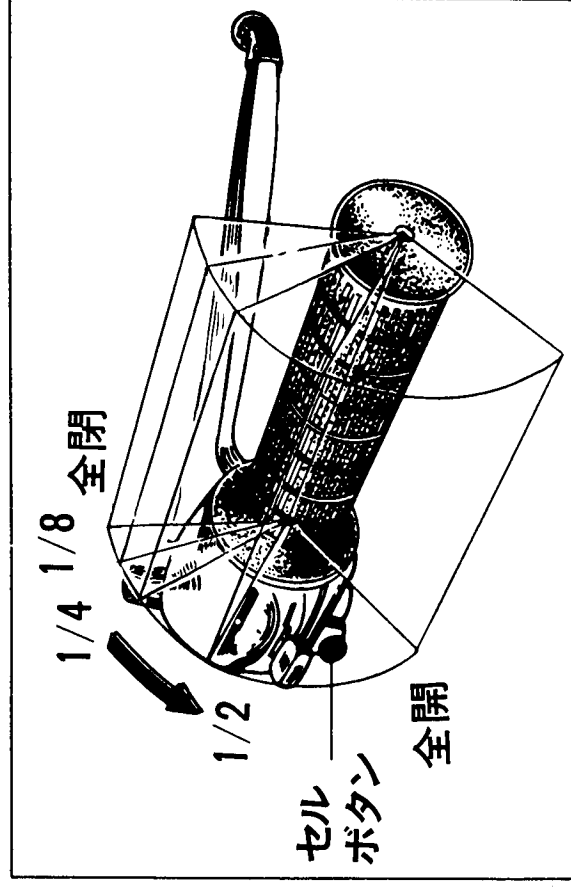
■正しい運転操作 エンジンのかけかた

1. フェューエルコックレバーを、“ON”にします。
2. メインスイッチを、“ON”にします。
3. チェンジをニュートラルにします。(ニュートラルランプで確認してください。)
4. スロットルグリップを $\frac{1}{8}$ から $\frac{1}{4}$ くらい開き、セルボタン(STARTボタン)を押します。キックスターペダルも使用できます。通常の場合これでエンジンがかかります。(エンジンがかからないときは、再度操作するか、42ページ記載の要領で確認してください。)
5. エンジンがかかったら、少し暖気運転をして、スタートします。

※この車は、セーフティスターター機構を採用していますので、チェンジが入った状態では、エンジンは始動しません。

注意

- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中や、せまい場所での始動は避けてください。
- キック始動時、チェンジが入っていると、飛び出しや、転倒することがあります。必ず、ニュートラルを確認してから始動してください。



注意

- セルボタンとキックスターペダルは、同時に使用しないでください。
- セルボタンを押して5秒以内でエンジンがかからないときは、10秒くらい休んでからまた押してください。これはバッテリー電圧を回復させるためです。
- 無用の空ふかしはしないでください。ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジンに悪影響を与えます。